

7 / 20 校長講話

今日は一学期の最後の日です。

皆さんはこの後、担任の先生からあゆみをいただきます。

私は、全員のあゆみを見ました。感想は「みんな頑張ってよかったなあ」と思いました。「一人一人とても成長したなあ」と感心しました。

特に感心したのは、夏の雲小学校を支えてくれた6年生の皆さんです。

4月5日の前日準備から始まり入学式、1年生へのお世話、運動会の係活動、委員会やクラブの推進、スマイル活動の企画運営など…あげればきりがありません。

先日、暑さのため外遊びができないときがありました。1年生はどのように過ごしているのか見に行くと…なんと多くの6年生が遊びに来ていました。とても優しい子たちだと感心しました。このように立派で優しい6年生がいる夏の雲小学校は幸せだなと思いました。

話をかえます。私の夏休みの思い出について話します。

小学生時代、夏休みになると必ず父の田舎 山形県へ行きました。父は、兄弟が多いので田舎に30人以上集まります。同年代が多くとても楽しい時間が過ぎます。

朝から川へ行き魚を捕まえたり、オニヤンマ・ギンヤンマという大きなトンボを捕まえたりしました。畑にあるトマトを丸かじりにしたことも良い思い出です。

夜は、花火大会や肝試しをしました。蛍が舞う姿は今でも忘れられません。

今振り返るととても良い思い出になっています。

いよいよ明日から夏休みに入ります。

皆さんにも忘れられない思い出かできるといいなと思っています。

とにかく事故には気を付けてください。

元気な姿で9月1日に会えることを楽しみにしています。